



# 佐野小だより

web版③

学校教育目標

「豊かな心を持ち、  
たくましく生きる子」

重点目標 ★高め合う子★

支え合い…思いやる心を持ち、支え合う子  
学び合い…自分の考えを持ち、学び合う子  
鍛え合い…健康に関心を持ち、鍛え合う子

## 教室拝見

5年 算数

単元の導入場面です。黒板に4つのコップをかき、「先生以外にあと3人にレモンジュースをあげます。」と言って、3



人を指名し、3人分のジュースを入れていきます。

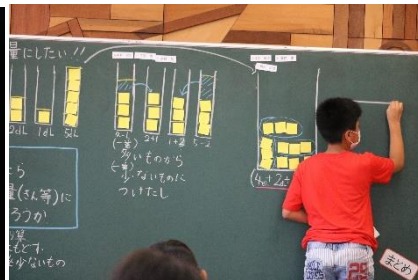
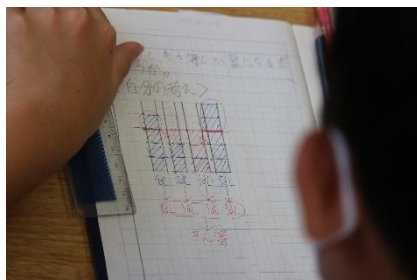
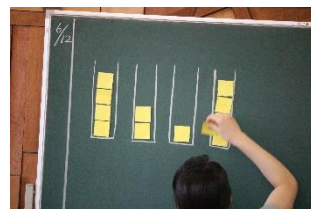
最後に先生のコップにジュールを入

ると、子どもたちからは、「〇〇さんがかわいいそう」「先生ずるい」と声が上がります。

そこで先生が、「どうしたい？」と投げかけると、「4人とも平等にしたい」という発言がでてきます。

今回の学習は、『平均』についての学習です。先生は、黒板での操作を通じて、子どもたちから本時の学習内容を引き出す仕掛けをしたのです。

ノートに、今日のめあて『どうしたら等しい量になるだろうか』と書いたあと、子どもたちは、図や式、ことばなどを使って、自分なりの方法で考えていきます。



「5 d Lの2 d Lをとって…」 「一番多い5 d Lのところを2つ1 d Lに…」 「4 + 2 + 1 + 5をして、1回入れ物に戻して…」 「(4 + 2 + 1 + 5) ÷ 4」など、子どもたちは、さまざまな考えを出し、ことばを互いにつないだり補い合ったりしながら説明をしていました。自分がない考えが出されると、「そういうこと!」「すごい!」など、認める姿も見られました。



たくさんの考えが出たところで、先生は、「これでみんな均等に分けられるね。」と価値づけます。さらに、「もし、これがもっと多い量だったらみんなどうする？」と投げかけ、式を用いて解決するよさを引き出していきます。そして、方法としては、『すべてを1つのまとまりにして、人数で割る』ということばの式に近づけていきます。

最後に、教科書を用いて、今日やった内容は『平均』であること、同じ量にすることを『ならす』ということばをまとめていきました。



## 佐野っ子ギャラリー



3年 道徳の授業



1年 体育の授業



4年 算数の授業



6年 図画工作の授業



6年 理科の授業



2年 ブックトーク